

『一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり』に向けて 福祉委員活動を推進しています

豊岡市社会福祉協議会では、地域の見守り・支え合い活動を推進するために、各区に福祉委員を委嘱しています。福祉委員、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、区役員の皆さんが協力して見守り活動をすすめ、困りごとの早期発見に努めていただいています。

福祉委員の役割

1 見守り活動を進めます

一人暮らしの方、高齢の方、障がいのある方等、地域の中で困っておられる方を把握し、民生委員等と協力し見守りを進めます。地域の困りごとを早期発見し、つなぐことが福祉委員の大切な役割です。

集いの場への参加による見守り活動

地域の集いの場（いきいきサロン、玄さん体操等）や地域行事に積極的に関わり、地域住民とのつながりを強くしましょう。集いの場に参加することで、地域の困りごとの把握にもつながります。

いきいきサロンから広がる福祉委員の見守り活動

福祉委員になってすぐに、近所の高齢者の方から集まれる場をつくってほしいという声を聞いた今本さん。福祉委員の役割『見守り』『つなぐ』を考えた時、いきいきサロンの立ち上げが自然に結びついたそうです。毎月のサロンでは、子どもから高齢者までの地域みんなが集まり、笑顔で元気になる場にしたいと考え、区長をはじめ地域の皆さんの協力のもと一年が経ちました。



畑山区 日和坂わいわいサロン 今日笑顔が広がります。



但東地域 畑山区福祉委員 今本美恵子さん
(令和元年9月時点 福祉委員、現在は民生委員としてご活躍されています。)

サロンの中では、体操を通じて高齢者の方の身体の異変が分かったり、情報も集まる場となり、サロンが『楽しく集まる場』から『見守りの場』につながっています。今本さんは「時には、高齢者の方が不安を口にされることもあり、よりそい、話を聴くことに努めています。サロンに来られない気になる方へも訪問し、お話を聴くようにしています。」と話されました。地域の皆さんの笑顔を見ることを自らの喜びとして、サロンを通じて、福祉委員の活動をすすめておられます。

令和元年9月広報 NIKO 掲載

2 異変や困りごとをつなぎます

発見された困りごとを区長、民生委員、民生協力委員、専門機関（社協や地域包括支援センター等）につなぎましょう

話し合いの場への参加

発見された困りごとを共有し、解決への取組を検討する話し合いの場（福祉委員会・見守り会議等）へ参加します。地域だけでは解決が難しい困りごとは、社会福祉協議会等へつなぎ、一緒に取り組めます。

ほっとかない ほっとけない 下谷をめざして

出石町下谷区。22世帯、高齢化率51.5%。

普段から、区長、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員等とは、区福祉委員会などを通じて、お互い気づいた情報を共有し合い、対処してきた。少子高齢化、街中まで距離があるこの区で暮らし続ける上で、困りごとを抱えている方も多い。



出石地域 下谷区福祉委員 伊藤雅典さん



下谷区福祉委員会での様子
(支え合いマップづくり)

困りごとや生活の不便さを感じる方が増えれば、区から離れていかれる方も増えるのではと危機感を抱く。自立されている間は、何とか下谷区で暮らし続けてほしい。その自立のお手伝いが少しでも出来ればと、現在、“お助け隊発足”に向けて準備をすすめている。今の困りごとの多くは、買い物を含めた移動手段、除雪などが課題となっている。今後も、区内の方の“助けて”の声を拾い続けていきたい。

令和2年1月広報 NIKO 掲載